

陳情第 50号

令和2年 3月17日

川崎市議会議長 山崎直史様

麻生区

リニア新幹線を考える

麻生・多摩の会

ほか 1名

リニア新幹線の片平立坑掘削に伴う工事用道路建設に関する  
陳情

#### 陳情理由

J R 東海は、麻生区の片平立坑（非常口）の掘削のための工事用道路の一部として、片平川富士見橋の脇の人道橋設置工事を、住民の懸念・反対を押し切って本年2月に着工しました。この工事に関しては、昨年12月21日に片平小学校でJ R 東海による住民説明会が実施されましたが、住民から懸念や反対の意見が出されており、今回の着工は一方的、形式的な手続による強行です。2018年（平成30年）6月に片平の住民から提出された請願第45号で「住民の合意がない工事の強行、道路拡幅による住居の立ち退き強要などは絶対に行わないこと」は、審議委員の全会一致で趣旨採択となりました。実際にはその後1年以上にわたるJ R 東海の執ような「説明会」という名の強要に住民は悩み、既にルート沿線の2軒が転居に追い込まれる事態となっています。

2018年（平成30年）の市議会での請願趣旨採択の結果に沿って、住民の生活と権利、安全を守るために、J R 東海に計画変更等の措置を取らせるよう以下の点を陳情いたします。

#### 陳情内容

- 1 市議会及び市の関係部局の皆さんに、片平地域（柿生交差点から富士見橋

に至るダンプカー、重機の運行ルートを含む)の現地を視察していただき、住民の声を聞いてください。

- 2 世田谷町田線から県道上麻生蓮光寺線に入る柿生交差点近くは、道路幅が極めて狭く、交通渋滞が慢性的であり、リニアの工事車両が運行するには不適です。ここの通行を禁止し、別のルートに変更するよう J R 東海に働き掛けてください。

立坑掘削残土運搬用ダンプカーの運行、立坑完成後のトンネル内設置の構造物の搬入などは長期にわたって行われます。柿生交差点近くには、柿生小学校、高齢者介護施設、その隣には道路を挟んで保育園があり、朝・夕の時間帯は園児やお年寄りの送迎、小学生の登下校に重なり、ダンプカーや重機が長期にわたって運行すべき所ではありません。特に4月からは新園児、新1年生が入ってきます。J R 東海の説明会でも、お母さんから子供が危険だから通らないようにとの意見が出されています。保育園、小学校の父母、学校側及び近隣住民に対する説明なく、J R の交通指導員の配置で済む問題ではありません。

- 3 片平川に架かる富士見橋の住宅道路は、残土搬出ダンプカーが9時から17時の間に往復で約320台(1時間に往復57台)の運行が計画されています。この地域は幼稚園に通う園児がマイクロバスに乗降する場所でもあり、交通事故等の懸念が父母から出されています。生活環境悪化のためか、既に2軒が転居を余儀なくされ、今後も続くおそれがあります。したがって、工事用車両の運行数を減らすために、工事用道路の複線化や往復を別ルートにする等、計画の見直しを行うよう J R 東海に働き掛けてください。

- 4 現在、人道橋建設を始めた工事用道路のルートは、環境影響評価段階の計画ルートとは異なっています。したがって、改めて環境影響評価を J R 東海はやり直しする必要があります。それまでは工事の実施を中止するよう、J R 東海に働き掛けてください。

- 5 工事用道路建設(特に前記3項の富士見橋周辺)に係る住民の生活環境悪化、精神的苦痛に対しては、計画変更をも含め、住民の要望を反映した十分な補償を行うよう、J R 東海に働き掛けてください。